教育委員会だより

「自立」と「共生」～自己肯定感～

令和４年１２月２２日号　多治見市教育委員会　教育総務課

食育の推進（親子食育講座・食育授業）

多治見市では、今年度も食育を推進しています。以前お伝えしたとおり、市内の全小学校の３年生を対象にした『食育センターの施設見学』を展開中です。また、『コーミソース』の職員の方を講師としてお迎えして、夏休みに親子食育講座も実施しました。今回は、さらに２つの事業についてお伝えします。1つ目は、11 月 27 日（日）に笠原ショッピングプラザマインのキッチンスタジオで開催した SDGsと食品ロスをテーマとした親子食育講座についてです。この講座には、名古屋グランパス栄養アドバイザーの森裕子氏を講師に招いて実施しました。この講座では、世界には食べ物がなくて困っている人がたくさんいて、世界の国々が年間約 420 万トンの食べ物を渡していることを知りました。しかし、1 年間に日本で捨てられる食べ物の量（食品ロス）が、522 万トンもあることを知り、身近な問題であることを学びました。その後、森講師から、食品ロスを減らすための、野菜等を無駄なく使うレシピを学び、実際に親子でおいしく食べました。

2つめは、11 月 28 日(月)に実施した食育授業についてです。この日、小泉小学校の 5 年生が『地産地消』について学びました。この授業には、市内生産者の寺西さんと、栄養教諭が参加しました。

子ども達は、寺西さんが自然農法と在来種の栽培にこだわって野菜や豆を栽培していることを知りました。さらに、安全・安心でおいしい野菜を作りたいという願いをもっていることを学びました。その後、栄養教諭から、地元（県内）の食材を使った給食づくりをすることで食の安全・安心を守っているという話を聞きました。子ども達は、地産地消が食の安全・安心につながることについて理解を深めることができました。

あったかい言葉かけ運動

この運動は、自分がかけてもらったうれしかった言葉などを、児童生徒・保護者・学校職員・地域の方から募集し、県内に広く発信することを通して、学校におけるいじめ問題等の未然防止に寄与することをねらいとして取り組んでいる運動です。審査の結果、県のリーフレットに２月掲載予定の南姫中３年生の生徒の作品を紹介します。

『あなたならできるんだから。』

毎朝、通学路の交差点で挨拶を交わす地域の人がいる。その人には、小1の頃からお世話になっているから、かれこれもう9年ほどの付き合いがある。今年の夏休みの前日、信号を待っているときに、その人が私に声をかけてくれた。「今年は受験生だね。あなたならできるんだから。がんばってね。」家族以外の人に「あなたならできる」なんて言ってもらったのは初めてだった気がする。憂鬱だった気分がどっかへ飛んで行って、心がとてもあったかくなった朝だった。

土曜学習『多治見探訪　下街道なぞときツアー』

11　月19日(土)に、第6回目の土曜学習『多治見探訪　下街道なぞときツアー』を実施することができました。今年度も、10名の多治見市観光ボランティアの皆さんに協力していただきました。ありがとうございました。感想をいくつか紹介します。

＜小学校　4年生児童の感想＞

多治見に「下街道」というところがあることを知らなかったので、知れてよかったです。なぞの「多治見市で古くから有名な人はだれ？」の答えを、歩きながら教えてくれたのでうれしかったし、「たじみくにが」という答えが当たったのでうれしかったです。

＜保護者の感想＞

初めての参加でしたが、とても楽しかったと話してくれました。楽しみながら多治見のことを学ぶことができたようで、私も嬉しく思います。

＜中学生ボランティアの感想＞

今回のボランティア活動を通して、違う学校の人、小学生、観光ガイドの方と関わることができ素敵な経験になりました。今回が2回目のボランティアだったけど、誰かのために協力して動くことの大切さが分かったし、とても楽しくて面白い学びになりました。